

宇部工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	英文法Ⅱ B	
科目基礎情報							
科目番号	0070		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	機械工学科		対象学年		2		
開設期	後期		週時間数		2		
教科書/教材	「Dual Scope 総合英語」小寺茂明監修(数研出版), 「Dual Scope English Grammar in 27」小寺茂明監修(数研出版), 「Data Base 4500」荻野治雄監修(桐原書店)						
担当教員	南 優次						
到達目標							
基本的な英語の文法力と語彙力を養い、英語運用能力を高めることを目的とする。 (1) 基本的な文法項目や文構造を理解できる。 (2) 基本的な単語と熟語を発音し、書くことができる。 (3) 既習の語彙と文法を用いて、まとまりのある英文を作ることができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		最低限の到達レベルの目安(可)		未到達レベルの目安
評価項目1	基本的な文法項目や文構造を理解し、それらのルールに合わせて修飾語句、単語を応用した文を作ることができる。		基本的な文法項目や文構造を理解し、それらのルールに合わせて単語を入れ替えた文を作ることができる。		基本的な文法項目や文構造を理解し、それらを用いた最小限の文を作ることができる。		基本的な文法項目や文構造を理解し、それらを用いた最小限の文を作ることができない。
評価項目2	1200語程度の基本的な単語、280語程度の熟語を発音し、書くことができる。		1050語程度の基本的な単語、245語程度の熟語を発音し、書くことができる。		900語程度の基本的な単語、210語程度の熟語を発音し、書くことができる。		900語程度の基本的な単語、210語程度の熟語を発音し、書くことができない。
評価項目3	自分の伝えたいことを表現するために既習の語彙と文法、接続語句を用いて、段落構成のあるまとまりのある英文を作ることができる。		自分の伝えたいことを表現するために、既習の語彙と文法に加えて、接続語句を用いて英語で表現することができる。		自分の伝えたいことを表現するために既習の語彙と文法を用いて、英文を作ることができる。		自分の伝えたいことを表現するために既習の語彙と文法を用いて、英文を作ることができない。
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	第3学期開講 英文法ⅡBは、英語の基本的な文法規則を理解するための講義となる。英文法ⅡBでは、英語によるコミュニケーション能力の基礎である発音、文法、語彙について、講義と小テストを実施する。						
授業の進め方・方法	・「Data Base 4500」から指定した範囲で単語テストを行う。 ・10月に実施するGTECに向けて、「ライティング」の対策を行う。 ・必ず英和辞典を携帯し、わからない語句はすぐに調べる(基本的に、テキストに出てくる単語はすべてわかっているという前提で授業を進める)。 ・2年次での英検(準2級)の取得を目指し、授業を進める。						
注意点	中学校の英語学習では、説明されていない英語のルールについて学びます。これまでわからなかったこと、知らなかったことについて、新しい発見と喜びのある英文法の授業になることを期待しています。一方で、英文法の学習は日々の積み重ねです。毎日少しずつでも、英語に触れる時間を作るようにしましょう。						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	小テスト			・前期学習事項の確認をする	
		2週	Lesson 20 : 分詞 (3)			・完了の分詞構文と独立分詞構文、分詞の慣用表現を用いて、簡単な文を作ることができる。	
		3週	Lesson 18・19・20 ; 分詞 (1) (2) (3) 確認テスト・単語テスト			・分詞の限定用法・叙述用法・分詞構文(完了・独立・慣用)の表現を用いて、簡単な文を作ることができる。	
		4週	Lesson 21 : 比較 (1)			・比較変化、原級と比較級の基本用法を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる。	
		5週	Lesson 22 : 比較 (2)			・最上級の基本用法と応用表現を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる。	
		6週	比較 : Extra Lesson			・比較級をもちた重要表現および慣用表現を用いて、簡単な文を作ることができる	
		7週	Lesson 21・22 ; 比較 (1) (2) 確認テスト・単語テスト			・原級、比較級及び最上級の基本と応用、慣用表現を使って簡単な文を作ることができる。	
		8週	Lesson 23 : 関係詞 (1)			・関係代名詞の用法を理解し、適切な関係代名詞を用いた簡単な文を作ることができる。	
	4thQ	9週	Lesson 24 : 関係詞 (2)			・前置詞を伴う関係代名詞とwhatの用法、継続用法と限定用法の違いを理解し、それらを使った簡単な文を作ることができる。	
		10週	Lesson 25 : 関係詞 (3)			・関係副詞の用法を理解し、適切な関係代名詞を用いた簡単な文を作ることができる	
		11週	Lesson 23・24・25 ; 関係詞 (1) (2) (3) 確認テスト及び単語テスト			・関係代名詞、形容詞、副詞及び複合関係詞の用法を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる。	
		12週	Lesson 26 : 仮定法 (1)			・仮定法の基本用法を理解し、それらを使って簡単な文を作ることができる。	
		13週	Lesson 27 : 仮定法 (2)			・仮定法の重要表現や慣用表現を用いて、簡単な文を作ることができる。	
		14週	Lesson 26・27 ; 仮定法 (1) (2) 確認テスト及び単語テスト			・仮定法の基本用法、及び重要・慣用表現を使って簡単な文を作ることができる。	

		15週	期末試験				
		16週	答案返却・解答解説 前期のまとめ		試験問題の解説を通じて間違った箇所を理解する。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切な運用ができる。		3	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。		3	
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	レポート	合計
総合評価割合	50	20	0	10	0	20	100
基礎的能力	50	20	0	10	0	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0